

豊島 高等学校 令和8年度		教科		国語		科目		古典探究	
教科： 国語		科目： 古典探究		単位数： 3 単位					
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組		1・2組（井上、福田、西本）		3・4組（井上、西本、橋本）		5・6組（井上、福田、西本）		7・8組（井上、福田、橋本）	
使用教科書：（精選古典探究（第一学習社））									
教科 国語		の目標：							
【知識及び技能】		生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。							
【思考力、判断力、表現力等】		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。							
【学びに向かう力、人間性等】		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
科目 古典探究		の目標：							

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】	
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			読・聞	書	読					
1 学 期	古文 1 説話を読む。 2 歌物語を読む。 【知識及び技能】 文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日記文学の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心と親しみを持って取り組んでいる。	指導事項 ・文章を通して語句の意味や用法を確認する。 ・文章を通して、歌がよみだされるまでの物語の構成や展開に注意しながら、話の面白さを味わう。 ・助動詞の活用、意味を理解する。 教材 ・『古今著聞集』（橋成季）大江山 ・『沙石集』（無住）歌ゆゑに命を失う事 ・『大和物語』菅の衣 ・一人1 台端末の活用 等	○	○	○	・文章に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができているか。 ・古典文法の助動詞・助詞の用法を身に付け、作品をおおむね理解することができるか。 ・教材の内容に関心をもち、それらを継承していくことに自覚を持とうとしている。 ・考査、小テスト、提出物、授業態度で総合的に評価する。	○	○	○	9
	漢文 思想書を読む 1 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 作品が成立した背景や内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心と親しみを持って取り組んでいる。	指導事項 ・漢文の面白さを味わい、中国の歴史に対する理解を深める。 ・『老子』『孟子』の各文の内容を把握し、その論理展開を理解する ・『老子』『孟子』に描かれた当時の中国の人々の生活や、ものの見方・感じ方、考え方を理解する。 教材 ・『孟子』何必曰利 ・『老子』天下莫柔弱於水 ・一人1 台端末の活用 等	○	○	○	・『老子』や『孟子』を通して、言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・『老子』や『孟子』を読んで、文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。 ・『老子』や『孟子』の成立した背景や、それぞれの作品の関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・時間の経過や国ごとの文化的特徴などによる文字や言葉の変化に理解を深め、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解を深めている。 ・教材の内容に関心をもち、それらを継承していくことに自覚を持とうとしている。 ・考査、小テスト、提出物、授業態度で総合的に評価する。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	○	1
	古文 1. 日記文学を読む。 2. 随筆を読む。 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりを 理解する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深め、古典作品への興味、関心を深める。	・日記や随筆としての形式や、文体、作者の意図を理解し、日記文学及び随筆を知る。 ・文章を通して、語句の意味や用法を確認する。 ・「なむ」の識別を理解する。 ・助詞の用法を理解する。 教材 ・『更級日記』門出 ・『更級日記』源氏の五十余巻 ・『枕草子』中納言参りたまひて ・一人1 台端末の活用 等	○	○	○	・日記文学という文章の種類とその特徴について理解を深めることができている。 ・文章を通して、時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めることができている。 ・日記文学や随筆という文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができている。 ・古典文法の助動詞・助詞の用法を身に付け 作品を理解することができるか。 ・教材の内容に関心をもち、それらを継承していくことに自覚を持とうとしている。 ・定期考査、小テスト、提出物、授業態度で総合的に評価する。	○	○	○	9
	漢文 思想書を読む 2 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 作品が成立した背景や内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心と親しみを持って取り組んでいる。	指導事項 ・漢文の面白さを味わい、中国の歴史に対する理解を深める。 ・『莊子』『韓非子』の各文の内容を把握し、その論理展開を理解する ・『莊子』『韓非子』に描かれた当時の中国の人々の生活や、ものの見方・感じ方、考え方を理解する。 教材 ・『莊子』曳尾於塗中 ・『韓非子』侵官之害 ・一人1 台端末の活用 等	○	○	○	・『莊子』や『韓非子』を通して、言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・『莊子』や『韓非子』を読んで、文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。 ・『莊子』や『韓非子』の成立した背景や、それぞれの作品の関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・時間の経過や国ごとの文化的特徴などによる文字や言葉の変化に理解を深め、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解を深めている。 ・教材の内容に関心をもち、それらを継承していくことに自覚を持とうとしている。 ・考査、小テスト、提出物、授業態度で総合的に評価する。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	古文 長編物語を読む 1 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりを 理解する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深め、古典作品への興味、関心を深める。	指導事項 ・「源氏物語」における登場人物の行動や心理を場面や状況に応じて的確に捉える。 ・長編物語がどう始まり、展開するかを理解する。 ・「源氏物語」を通して語句の意味や用法を確認する。 ・助動詞の用法を理解する。 ・敬語の用法と対象を理解する。 教材 ・源氏物語「光源氏の誕生」 ・源氏物語「若紫の君」（一部） ・一人1 台端末の活用	○	○	○	・「源氏物語」における文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができている。 ・「源氏物語」を読むことを通して、我が国の文化の特質について理解を深めることができている。 ・「源氏物語」の読解を通して、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 ・長編物語という文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができている。 ・生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。 ・考査、小テスト、提出物、授業態度で総合的に評価する。	○	○	○	12

[illegible]